

◎ あなたは、なぜ学ぶのですか？ ～小学5年生が数学検定1級合格～

先日の新聞で、「小5で数学検定1級、最年少合格」という記事が目にとまりました。それによると、今年10月に実施された実用数学技能検定で、東京都世田谷区の小学5年生高橋洋翔君が、大学レベルとされる1級に合格。これまで中2だった最年少記録を塗り替えたということです。さらには、高橋君は5歳から検定試験の学習を始め、小学1年生で2級（高2レベル）、小学2年生で準1級（高3レベル）に、いずれも最年少で合格しているそうです。

ちなみに、数学検定1級の問題を一問紹介すると……、

【問題】 $D = \{(x, y) \mid 1 \leq x^2 + y^2 \leq 4, x \geq 0, y \geq 0\}$

とおくとき、次の二重積分の値を求めなさい。

$$\iint_D x y \, dx \, dy$$



「積分」は高校2年生で学習するので、「二重積分」なんて恐らく中学生にはちんぷんかんぷんだろうと思います。大学で数学を学んだ私も、「そういえば大学の時に見たような記憶がある」くらいしかわかりません。この問題を小学5年生が解くとは驚くばかりです。高橋君の将来の夢は「数学者」だそうですので、これからまだ解明されていない多くの数学の謎に挑んでくれることを期待してしまいます。

さて、右上の写真は、現在2年生の校舎に掲示されている短歌の作品です。「点数見ては後悔ばかり」は、多くの人が経験し感じることです。でも、人はテストで高い点数を取るために学んでいるのかと問われると、少し違うような気がします。確かにテストで高得点を取ることは、その後の学びのモチベーションを上げ、進路の幅も広がるかもしれません。でも、テストの点数はあくまでも学力の一部にしか過ぎないのです。

上に紹介した高橋君は、2、3歳の頃に両親から買ってもらった「立体パズル」がきっかけで数学の性質に興味を持ち、その後数学の世界への学びを深めていきました。将棋の藤井聡太七段にしても、小学5年生でオセロの世界チャンピオンになった福地啓介君にしても、学びの基本は「興味・関心」と「なぜ？」を追求する探求心ではないかと思います。私たちは多くの謎に囲まれて生活しています。その「謎をなぜ？」と追求していくことが学ぶことの本質のように感じています。さて、あなたはなぜ学んでいるのですか？

蛇足ながら、高橋君は小学5年生の算数の授業中には何を学んでいるのか興味がありますね。

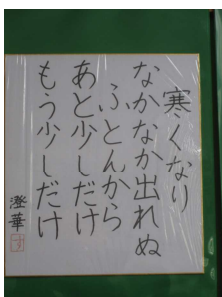
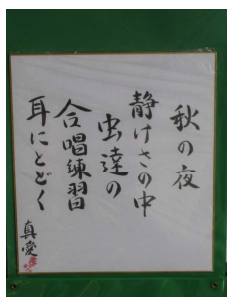
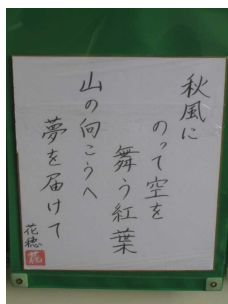
◎ 2年生「秋」を詠む！

上に作品を一首紹介しましたが、他にも「なるほど」と感心する作品を紹介します。

『秋風に のって空を 舞う紅葉
山の向こうへ 夢を届けて』
『秋の夜 静けさの中 虫達の
合唱練習 耳にとどく』

『寒くなり なかなか出れぬ ふとんから
あと少しだけ もう少しだけ』

自筆で書いた感性豊かな作品が掲示されています。言葉の深さを味わうことができます。



◎ 屋上防水工事終了！

10月下旬から始まりました「理科室・家庭科室棟」の屋上防水工事が終了し、昨日校舎周りの足場が撤去されました。予定では12月中旬までの工期でしたが、天候にも恵まれ約1ヶ月早い終了となりました。

この後、来週の市教委の最終検査を経て、引き続いて校舎壁面の改修工事に入る予定です。施工業者がまだ決定していないため、工事の日程等はまだ未定です。

分り次お知らせいたし工事でございすが、協力をお願いいたします。



足場の解体作業の様子